



(のりくらだけ)
乗鞍岳

79

中信森林管理署



乗鞍岳 (3,026m)

中信森林管理署大野川森林事務所管内は、乗鞍高原を含み標高一、一〇〇〜三、〇二六m(乗鞍岳)と高所に位置し、冷涼な気候で乗鞍岳を望み、乗鞍スキー場や乗鞍・白骨温泉、いがやレクリエーションランドなど観光やアクティビティが豊富な地域となっております。

今回は、日本一簡単に三、〇〇〇m峰に登山できるといわれる乗鞍岳をご紹介します。

日本一の高度を走る乗鞍スカイラインを利用して、登山口である標高二、七〇二m畳平へアクセスすると、剣ヶ峰山頂までは徒歩一時間三十分ほどです。山頂からは乗鞍高原を見下ろすことができ、山頂直下の火口湖、権現池を望めば、過去の噴火と周辺地形の成り立ちを観察できます。



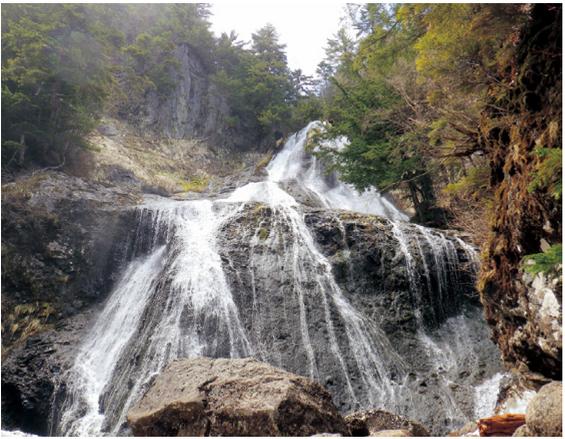
中央奥の湖の左が畳平

乗鞍高原は乗鞍岳の溶岩台地で、溶岩の厚さ六十m、落差四十mの乗鞍三滝の一つ、番所大滝を生み出しています。



番所大滝

また、日本の滝百選に選出された三本滝は、水源が異なる三つの滝の様子が一度に見られる名所で、落差五十m、山岳信仰の修験者の厳しい修行の場であったといわれています。



三本滝

この他、善五郎の滝は、今から約四万三千年前、乗鞍火山の高天ヶ原火山体(二、八二九m)から流れ出た、番所溶岩の中にできた滝で、幾度にもわたって流れた溶岩の一端が崖となった個所に、小大野川が流れて滝になったと考

えられています。近隣では、特異な地質として、温泉が噴出した場所に沈殿物が多く付着して幾重にもなった「噴湯丘」や、世界的にも珍しい球状の石灰岩で国の特別天然記念物に指定された「白骨温泉の噴湯丘と球状石灰石」を見ることができま

◆所在地(乗鞍岳畳平バスターミナル)
岐阜県高山市丹生川町岩井谷 一、二、三
営業期間…五月十五日〜十月三十一日(冬季閉鎖)まで

◆アクセス【自動車】
○ほおのき平バスターミナルまで
中部縦貫道・高山ICより約三十五分
長野道・松本ICより約六十分

